

## 京都市「学校問題解決支援チーム」の発足について（概要）

本市においては、保護者・地域の参画と教職員の熱意で「開かれた学校づくり」を推進し、学校、家庭、地域が「情報と課題意識」を共有し、「行動の共有」、さらには「成果、評価の共有」にまで高める取組を進め、着実に成果を上げている。

しかし、一部では、子どもの実態や学校の教育実践が理解されずに、保護者から一方的な批判や道理に基づかない要求等が行われ、学校と家庭の関係が修復困難な状況に陥り、教育活動の停滞や教職員の精神的な疲弊などを招くケースが見受けられる。また、このことにより、当該保護者の子どもの教育権も保障されない事態となっている。保護者の学校への要望の多くは、子どもを思う気持ちから発せられたものであることから、批判や要求について、問題の本質や背景も把握し、的確かつ組織的に対応することが必要である。

そこで、学校や保護者への直接指導・支援に当たるなど、問題解決を目指すとともに、関係機関との十分な連携を図り、排除するのではなく学校と保護者との関係を改善し、子どもたちの学びと育ちを保障する実践を進めるため、外部の専門家も含めた「学校問題解決支援チーム」を設置する。

もとより、今日、本市では、かつての「学校の荒れ」を教職員、保護者や地域の熱意で克服し、優れた教育実践が展開されている。こうした教訓に学び、「地域の子どもは地域で育てる」という伝統のもとで多くの市民の参画を得て教育改革を進める中、PTAや「おやじの会」など行動するネットワークを活かして学校、家庭、地域の連携を深め、一人一人の子どもを徹底的に大切にする教育活動のより一層の充実を目指すものである。

### 1 活動内容

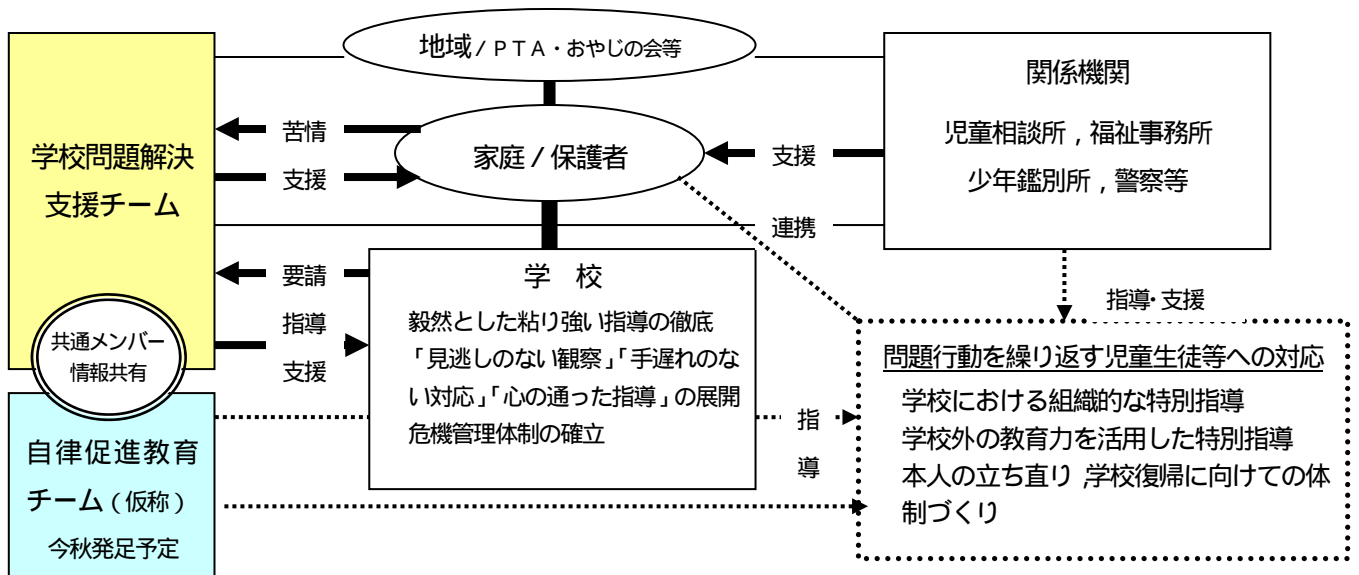
学校、保護者、児童生徒等の状況把握及び専門性を活かした対応策の検討

学校、保護者への具体的な指導・支援及び学校と家庭との関係修復に向けた働きかけ

- ・必要に応じた学校への入り込み、家庭訪問など、学校、保護者への直接の指導・支援
- ・問題行動を繰り返す児童生徒等に対する学校や「自律促進教育チーム（仮称）」の指導を巡る保護者からの一方的な批判や要求などへの対応
- ・「自律促進教育チーム（仮称）」= 今秋発足予定 「下記概要参照」の指導・支援との連動

「社会で許されないことは学校でも許されない」ことを明確にした毅然とした粘り強い指導、「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」の組織的な展開、危機管理体制の整備に向けての学校・「自律促進教育チーム（仮称）」の取組に対する連携協力

保護者、地域住民からの学校における学習活動・生徒指導の問題に係る苦情等への対応及びPTA等とも連携した学校・家庭・地域各々の機能回復に向けた指導・支援



【参考】「自律促進教育チーム（仮称）」

反社会的な問題行動が頻発・集中する状況など、正常な教育活動を阻害する問題の解決を図る中で、排除の論理ではなく、一人一人の子どもを徹底的に大切にするという本市教育の理念に立ち、学校における日常の取組を基盤としつつ、学校での特別指導への援助、一時的な校外での指導や学校復帰に向けた体制づくり等を行い、当該児童生徒の立ち直りを支援する組織。

当該児童生徒の保護者に対しても支援を行い、一方的な批判や要求などには「学校問題解決支援チーム」と連動して効果的な活動を展開。

また、平素から、学校との連携を密にし、問題行動等の兆候などを把握し未然防止に協力。

「チーム」の発足は、本年秋を予定。

## 2 構成メンバー（計 12 人）

専 門 委 員 5人	医師	さだもと 定本ゆきこ	京都少年鑑別所法務技官，精神科医
	弁護士	こつき ひろし 小槻 浩史	元京都弁護士会副会長
	臨床心理学者	いしづき あつ 石附 敦	京都光華女子大学大学院教授，前京都府臨床心理士会会長 元京都家庭裁判所調査官
	市民代表	くぼたまゆみ 久保田真由美	元京都市子どものための市民憲章懇話会委員 元人づくり 21 世紀委員会幹事長，元京都市 P T A 連絡協議会会長
		しのだ つねお 篠田 常生	日本ボーイスカウト京都連盟副理事長
常 任 委 員 7人	スクール カウンセラー	こばやし てつろう 小林 哲郎	下京中学校担当，臨床心理士 神戸女学院大学教授
	警察官 O B	ひかさ よしお 日笠 義夫	元京都府警警視，生徒指導課参与
	教育委員会 事務局	おけたに まもる 桶谷 守	チーム統括 京都市教育相談総合センター所長・生徒指導課長
		はつだ ゆきたか 初田 幸隆	学校指導課首席指導主事
		ほんま やすこ 本間 康子	地域教育専門主事室副室長
あさひ なかくじゅん 朝比奈覚 順		総合育成支援課首席指導主事	
	おおはし ただし 大橋 忠司	生徒指導課首席指導主事	